

大きなこたえをつくるには？ 視点2, 3

1. 単元名 たし算とひき算のひっ算（2年生 9月）

2. 改善の動機・意図

児童はこれまでに、百の位へ繰り上がりのある2位数の加法を学習している。本時では、数字カードで答えが一番大きくなる筆算をつくる活動を行う。児童が答えを大きくする方法を考える中で、数や計算について考える楽しさを感じたり、数のイメージを豊かにしたり、「十の位を大きくすれば、繰り上がって次の百の位へいくんだ」というような十進位取り記数法の原理を理解できるようにしたい。

また、さいころを用いた筆算ゲームを通して、繰り上がりがない場合、百の位へ繰り上がりがある場合、百の位への波及的な繰り上がりがある場合など様々なパターンの筆算を、ゲーム感覚で繰り返し解き、計算する力の定着を図っていきたいと考え、本実践を立案した。

3. 授業の構想

T1 3、4、2、6を使って答えが大きくなる筆算を考えましょう。



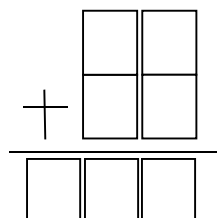
C1 大きい順に64+32はどうか？

C2 あれっ？もっと大きい答えにできそうだよ。

C3 百の位までいくかも！

<どうならばれば こたえが1ばん大きくなるかな>

T2 数字カードを並べ替えて考えてみよう。



上と下をいれかえても
答えは同じだね

数字カードを筆算あてはめシートに並べる活動をする



C4 63+42の方が、答えが大きくなるよ！

C5 繰り上がりをつくれればいいんだ。

C6 たしかに！百の位までいって大きな答えになるね。

T3 他の数字でも繰り上がりがあれば、答えが大きくなるのかな？1、7、5、8でも考えてみよう。

C7 81+57なら繰り上がりができるよ！

C8 81+75はもっと大きな答えになるよ。

C9 繰り上がりをつくただけじゃ、一番大きくならない・・・？

C10 どちらも繰り上がりがあるけど、十の位に大きい数をおいたほうが大きな答えになるね。

T4 ペアそれぞれがさいころを4回ふり、出た数を使って筆算をつくりましょう！どちらの答えが大きくなるかな？

C11 繰り上がりと、十の位に大きな数を並べるコツを使えばできそう！

C12 たくさん筆算をつくったよ。

C13 運もあって楽しい！

C14 もっと筆算してみたいな。

